

第4次 雄武町子どもの読書活動推進計画

2023年度～2027年度

(令和5年度～令和9年度)



雄武町教育委員会

目 次

第1章 基本的な考え方	1
1 計画の背景と目的	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画の期間	2
4 計画の対象	2
5 基本方向	2
6 第3次計画の検証結果	3
第2章 子どもの読書活動の推進の方策	20
基本方向1 読書機会の充実	20
(1) 家庭における取組の推進	20
(2) 保育所・児童センターにおける取組の推進	21
(3) 学校における取組の推進	21
(4) 図書館における取組の推進	22
基本方向2 読書環境の整備	23
(1) 保育所・児童センターの図書資料の整備・充実	23
(2) 学校図書室資料の整備・充実	23
(3) 図書館資料等の整備・充実	24
基本方向3 普及・啓発	25
(1) 子どもの読書活動に関する理解の促進	25
(2) 各種情報の収集・提供	25
第3章 計画の点検・評価	26
(1) 子どもの読書活動推進計画の点検・評価	26

第1章 基本的な考え方

1 計画の背景と目的

読書活動は子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。そのため、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備を推進していく必要があります。

また、子どもの読書活動を推進する上で、家庭や保育所等の児童施設、学校、図書館等、社会全体で協力して読書に親しむ機会を提供し、環境を整備していくことが肝要です。

このような状況の中で、雄武町における子どもの読書について、現状と課題を把握し、読書環境の整備を行い、読書活動の推進を図ることを目的として、「雄武町子どもの読書活動推進計画」を定めます。

2 計画の位置づけ

雄武町子どもの読書活動計画は、国の法令である「子どもの読書活動の推進に関する法律」、それに基づき制定された「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」そしてそれらに基づき北海道が策定した「北海道子どもの読書活動推進計画」を踏まえ、雄武町総合計画及び雄武町社会教育中期計画と整合性を図った個別計画としての性格を持つものです。

国 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月施行）



子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第5次）

道 北海道子どもの読書活動推進計画（第5次）



町 雄武町子どもの読書活動推進計画（第4次）



雄武町社会教育中期計画（第10次）



雄武町総合計画（第6期）

3 計画の期間

計画の期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

4 計画の対象

この計画の対象は、0歳から概ね18歳とします。

5 基本方向

この計画の基本理念の実現をめざし、地域全体での取り組みを「家庭」「保育所、児童センター」「学校」「図書館」の4つに分類し、次の3つの観点から地域全体で子どもの自主的な読書活動を推進します。

(1) 読書機会の充実

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、積極的に読書をしようとする意欲や態度を養い、生涯にわたる読書習慣を身につけることができるよう努めることが必要です。

このような観点から、家庭はもとより地域全体で子どもの読書機会の提供・充実を図ります。

(2) 読書環境の整備

子どもが必要とするタイミングで必要な本を手にできるよう、身近なところで読書ができる環境を整備していくことが重要です。

このような観点から、雄武町図書館（以下「図書館」という。）や学校図書館の資料の充実とともに、関係機関、民間団体などが連携・協力し、子どもの自主的な読書活動の推進に向けた機会や場所を提供するなど、望ましい読書環境の整備に取り組みます。

(3) 普及・啓発

子どもが自主的な読書習慣を身につけていくためには、家庭をはじめとした地域全体が読書活動に理解と関心を持つことが重要です。

このような観点から、子どもの自主的な読書活動を推進する社会的機運の醸成を図るため、子どもの読書活動の意義や重要性について広く普及・啓発を図ります。

6 第3次計画（平成30年度～令和4年度）の検証結果

実施状況 ○（実施している）、△（一部実施している）、×（実施していない）
評価 A（達成）、B（概ね達成）、C（不十分）、D（未達成）

基本方向1 子どもの読書活動の充実

推進方策1－1 家庭・地域における子どもの読書活動の機会の提供

（1）家庭における取組の推進

① 絵本との出会い事業の実施

絵本を通して親子がふれあう機会を提供するため、1歳の誕生日を迎えた対象児に対し、子育て支援センターが実施する「はじめてのお誕生会」の場におけるブックスタートパックの配付を継続するとともに、ブックリストの配付を行います。また、図書館事業などについての情報提供や図書館司書のおすすめ絵本の紹介も行います。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	B	【図書館】ブックスタートは継続的に実施しているものの、ブックリストの配付、情報提供については未実施である。
△	△	△	△	△		

② 乳幼児健診での読書活動支援

乳幼児健診時に、図書館事業の情報や本を選ぶ際の参考となるようブックリストを受診者の親子に配付します。また、読み聞かせや本の選び方についてアドバイスを行う図書コーナーを設置するとともに、図書館の利用方法などについての情報提供や、図書館司書のおすすめ絵本の紹介を行い、家庭における読書活動を支援します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	D	【図書館】乳幼児健診時の読書活動支援は行っていない。
×	×	×	×	×		

③ ブックリストの配布

発達段階に応じたブックリストを作成し、0歳から就学前までの乳幼児には健診時に保護者に配付するほか、図書館、保育所などにも配置し、絵本についての情報提供を行います。

小学生に読んでもらいたい各学年に応じたブックリストを、学校を通して定期的に配付するとともに、中・高校生向けのおすすめ本のリストを掲載したパンフレットを作成し各学校に定期的に配付します。

その他、食育を推進するブックリストを作成し、乳幼児健診時の保護者や各学校に配付します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	D	【図書館】ブックリスト、おすすめ図書のリスト配付は行っていない。
×	×	×	×	×		

④ 家読（うちどく）の取組の推進

平成29年度における全国学力・学習状況調査では、「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」との設問に対し、「10分以上読んでいる」と回答した児童生徒の割合は、小学生が59.2%、中学生が54.0%となっています。

調査結果において、北海道や全国と比較すると、小学生はいずれも低く、中学生はいずれも高い結果となっていますが、「10分より少ない」、「全くしない」と回答した児童生徒の割合は4割を超えています。

北海道教育委員会がすすめている北海道「朝読・家読運動」や「家読推進プロジェクト」と連動し、学校やPTA、地域が連携して、家庭などにおける日常的な読書習慣の普及と定着に向け、家読の取組を推進します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	B	【図書館】各小中学校に対し朝読用の図書貸出を継続的に行い支援している。家読については講師招聘の計画があったが、コロナ禍により実施には至らず、取り組み自体行っていない。
△	△	△	△	△		

（2）図書館における取組の推進

① 読書相談への対応等

館内に、発達段階に応じた各種ブックリストやパスファインダーを配置するとともに、特集コーナーの設置や読書からのお薦め本を紹介する参加型展示を活用し、読書相談への具体的なアドバイスを行い、子どもたちが自発的に読書活動や学習に取り組めるよう支援します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	D	【図書館】読書相談への具体的なアドバイスは実施していない。
×	×	×	×	×		

② 絵本等の選書支援

絵本を選ぶ時間がない保護者や選定に迷っている保護者向けに、お薦め絵本、着替えや歯みがきなど生活に関する絵本のセットを紹介し、子育てを支援します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	A	【図書館】絵本の企画展示やブラインドブック事業によりお薦め絵本の貸し出しを行ったほか、保健師に対し歯みがきに関する絵本のセットを健診用に貸し出しし、館内でも手洗いなどコロナ予防に係る絵本展示を行った。
○	○	○	○	○		

③ おはなし会・講座等各種事業の実施

こども映画会や子どもの読書週間でのイベント、ボランティア団体等の協力による読み聞かせ・朗読会・定期的なおはなし会・図書館まつりの実施など、さまざまな事業を通して読書に親しむ機会の充実を図ります。また、妊婦とその家族を対象に、胎児の成長や発達状況、胎児への語りかけの効果などについての講座を開催し、胎児期からの読み聞かせの重要性や必要性についての理解促進に努めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	A	【図書館】映画会や子どもの読書週間イベント、工作会、講演会、図書館まつりなど様々なイベントを実施している。
○	○	○	○	○		

④ 語り手育成講習会などによるボランティアの育成

ボランティア活動による学校での読み聞かせが行われていますが、読み聞かせの初心者を対象とした入門編、経験者を対象としたステップアップ編、学校で読み聞かせをしている人を対象とした小学校編など、受講者のレベルやテーマに応じた語り手育成講習会を開催し、ボランティアの育成及び技術の向上を図るとともに、新たな人材の確保に努めます。また、受講者が学んだことを実践することができる機会の提供に努めます。

図書館と利用者をつなぎ、図書館活動の厚みと利用者の楽しみを増す大きな役割を担う、図書館友の会の発足を促すための情報提供に努めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	C	【図書館】図書館ボランティア育成、友の会の発足には至っていないが、読み聞かせに関する講習会は行っており、今後拡充していきたい。
×	×	×	×	△		

⑤ 年代別体験型事業の実施

小学生を対象とした図書館司書体験やフロアボランティア体験、中・高校生以上を対象としたビブリオバトルなど、年代に応じた体験型事業を実施し、本に興味を持つきっかけ作りを行うとともに、新たな本や多くの人に出会える機会を提供します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	B	【図書館】インターンシップ、職場体験を受け入れているが、ビブリオバトルなど、年代に応じた体験型事業の実施には至っていない。
△	△	△	△	△		

⑥ 小・中学生及び高校生によるボランティア活動の実施

中・高校生向けのブックリストの作成や展示コーナーにおけるお薦め本の紹介など、中・高校生の視点による利用しやすいコーナー作りに取り組みます。

また、小・中学生が、年下の幼児や児童に対して読み聞かせを行う機会を提供します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	C	【図書館】小・中学生が年下の幼児や児童に対し読み聞かせを行う場の提供には至っていないが、中・高校生を対象とした企画展示により図書の紹介を行っている。
×	△	×	△	×		

⑦ 施設見学、職場体験の受入

保育所児や小学生などの施設見学の受入れに当たっては、子どもたちが図書館を身近な場所として感じられるよう、少人数に分けた細やかな案内や説明を行います。

中・高校生の職場体験の受入れを行い、図書館業務の体験を通して、読書の大切さや楽しさについての理解促進に努めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【図書館】保育所児の図書館利用、小学生の施設見学、中・高校生の職場体験等については、例年受け入れを行っている。

（3）公共施設における取組の推進

① 乳幼児健診会場で絵本にふれあう機会の提供

乳幼児健診時に、待合スペース等に絵本やブックリストを設置し、健診の合間に親子で絵本にふれあえる機会を提供します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
×	×	×	×	×	D	【図書館】1歳児健診に併せブックススタートを実施しているが、絵本等の設置は行っていない。

基本方向1

推進方策1－2 学校等における子どもの読書活動の機会の提供

（1）読書指導の充実

① 国語の読書指導の充実

日常生活においても児童生徒の読書意識が高まるよう、各学校において国語科を中心とし、すべての教科を通してさまざまな文章や資料を読んだり調べたりするなど、読書指導の充実を図ります。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【雄武小】物語文の学習後に同じ作者や同じジャンルの本を読んだり、学習内容をいかして図書館や図書館の本を活用した調べ学習に取り組んだり、おすすめの本を紹介したりといった取組を通して本に親しむ態度が育っている。
△	△	○	○	○	B	【沢木小】教科書が変わったタイミングで、教科書で紹介されている図書を購入した。普段読まない種類の図書にも興味を持つきっかけとなった。

○	○	○	○	○	A	【共栄小】言葉や文章によるコミュニケーション（交流）を意図的に組み入れた学習指導や生活指導により、言葉・文字に触れる機会を増やしている。
○	○	○	○	○	A	【雄武中】ビブリオバトルを行うなど本に興味をもつ工夫をしている。授業時数が限られた中で、どのようにしてさらに意識を高めていくかの課題もある。また、現在進めてもらっているが、学校図書館に必要となる本が少なく、用いにくいことも課題の一つである。
△	○	○	○	○	B	【雄武高】国語科の授業内で読書指導を実施

② 朝の読書など一斉読書活動の推進や読書週間の活用

各学校において実施されている朝の読書活動などの一斉読書を推進するとともに、子どもの読書週間期間に各種読書に関連する事業の実施や図書館との連携により児童生徒の一層の読書習慣の定着に努めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【雄武小】年間を通じて全校で朝の読書活動に取り組み、習慣化につながった。図書館からの配本も読書習慣定着の一因となっている。家庭での読書習慣の定着が今後の課題と言える。
○	○	○	○	○	A	【沢木小】毎週水曜、朝読書の時間を設けている。リズムチェック週間に合わせ、児童が進んで読書できるような取組を行っている。その期間は読書量が増えている。
○	○	○	△	△	B	【共栄小】読書の時間を確保すると共に、物語や小説など、想像力を高める、文章を読む読書への意欲付けが必要である。
○	○	○	○	○	A	【雄武中】朝読書を通して、本と触れ合う機会は少しずつ増えているが、読書習慣が十分に身に付いているとはいえない。

△	△	△	△	△	B	【雄武高】読書習慣の定着には至っていない
---	---	---	---	---	---	----------------------

③ 学校図書館や図書館を活用した調べ学習の推進

各教科や特別活動、総合的な学習の時間を通して、学校図書室を活用した多様な学習活動を推進します。

図書館では、調べ学習などを積極的に受け入れるほか、配本による学校への支援について、ニーズに沿った利用促進を図ります。

また、図書館を上手に活用するための冊子を作成・配布し、図書館においてパスファインダーを利用した調べ物教室を開催し、自ら調べる力を育むための取組を進めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【雄武小】調べ学習の受け入れだけでなく、学校からの要望にあわせて特定のジャンルの図書を配本するなどの協力をいたることが学習活動の推進につながった。
○	△	△	○	△	B	【沢木小】H30、R3に、調べ学習用の図鑑を入れ替えたり、増やしたりした。 パソコンで調べる機会が増え、図書館の活用は減っているように感じる。
○	○	○	○	○	A	【共栄小】学習によく使う本の充実を図り、コーナーを設置し、スムーズに調べ活動を行えている。
△	△	△	△	△	B	【雄武中】図書館にある本を整理しきれていないため、本の所在をはっきりとさせる必要がある。PC室に置いてある本で調べることははあるが、その機会はあまりない。
△	△	△	△	△	B	【雄武高】教科で調べ学習やビブリオバトルの実施などで活用している。

(2) 家庭・地域との連携による取組の推進

① ボランティアによる本の読み聞かせの実施

学校支援推進委員会との連携に努めるとともに、語り手育成講習会などを活用し、読み聞かせの技術向上を図ります。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【雄武小】月に1～2回のペースで読み聞かせに来ていただくことが、低学年の読書意欲の喚起につながっている。
△	△	△	△	△	B	【沢木小】読み聞かせは、学校にない本を読んでもらえるので、いろいろな本に興味を持つきっかけになる。
○	○	○	○	○	A	【共栄小】読み聞かせをお願いしている。読書の楽しさを感じさせる読み聞かせで、児童の読書への意欲の向上がみられる。
×	×	×	×	×	D	【雄武中】実施できていないので、今後、地域と連携して実施していきたい。
×	×	×	×	×	D	【雄武高】ボランティア部による本の読み聞かせ等も検討していく。

(3) 保育所等における取組の推進

① 保育所等での絵本の活用

午睡前や帰りの会で、絵本や紙芝居や読み聞かせを行うほか、朝や帰りの自由遊び時間に、希望する児童に保育士が個々に読み聞かせを行います。

保育所玄関エントランス・遊戲室・各クラス・子育て支援センター内の書架に、児童がいつでも好きな絵本を手に取れるよう配置し、月ごと・季節ごとに絵本の入れ替えを行うほか、希望者への貸し出しを行い、自宅でも親子で絵本に触れ合う機会を創出します。

図書館では、保育所における読書活動を支援するため、団体貸出を行うほか、セット絵本等の貸出について利用状況に応じた内容の工夫に努め、利用促進を図ります。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【保育所】感染拡大予防のため、クラス単位の室内での活動が多くなり、子どもたちが絵本を手に取る時間が増えた。自由活動中も選んだ絵本で個々に読み聞かせを希望する子も多く、図書館を利用したり、借りてきた絵本を保育に活用することで、絵本に親しみ、関心が高まっている様子が感じられる。

② 児童センターでの本の活用

児童センターに対し団体貸出や選書の協力をを行い、児童センターにおける読書活動を支援します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
×	×	×	×	×	D	【図書館】児童センターを対象とした団体貸出、選書協力は実施していない。

基本方向2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

推進方策2－1 図書館等の整備・充実

(1) 図書館の図書館資料等の整備・充実

① 図書館資料の整備・充実

乳幼児には絵本に親しんでもらうため、良質な絵本や布の絵本、紙芝居、大型絵本など、児童生徒向けには文学やノンフィクション、自然科学、芸術・スポーツなど、子どもたちが興味や関心を持つ幅広い図書館資料の計画的な整備と更新に努めます。

また、北海道に関わりのある民話や絵本のほか、アイヌ文化などに関する児童書の収集に努めます。

図書館で不用になった絵本や児童書については、リサイクルフェアを通して家庭に還元して再利用を行い、図書の有効利用を図ります。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【図書館】各世代に対する資料の整備・更新については計画的に実施しており、例年古本市を実施し、図書の有効活用を図っている。

② 移動図書・配本等の充実

各学校への配本を継続して行い、多様な本に接する機会を提供します。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【図書館】例年移動図書館・配本を実施しており、令和3年度には共栄小学校に対する移動図書館が追加されるなど徐行の拡充に努めている。

③ 図書館の情報化

図書館資料のデジタル化をすすめ、ホームページを通して、資料の検索や蔵書の貸出状況、貸出期間の延長など図書館に関する情報の検索が容易にできるように取り組みます。

また、館内では図書検索機やインターネット、国立国会図書館などのデジタル化資料送信サービスなどにより、本の情報や生活・学習に役立つ情報を提供し、利用者の利便性の向上を図ります。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【図書館】図書館に関する情報の検索についてはホームページ上で可能であり、館内においても検索機やインターネット端末、wi-fi等のサービスを提供している。

④ 読書活動に関する情報の整備・充実

図書や行事など読書活動に関するさまざまな情報を提供するとともに、利用者の相談に応じるレファレンス能力の向上に努めます。

読書情報では、乳幼児から高校生までの発達段階に応じたブックリストや定期的な情報誌の発行により、子どもたちにとって魅力的な情報の提供と、子どもの本を選ぶ大人の参考となる情報の発信に努めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
△	△	△	△	△	B	【図書館】ホームページや紙媒体を利用した図書館情報の提供を行っているほか、利用者からのレファレンスについては正職員が中心となり対応しているが、ブックリストや定期的な情報誌の発行は行っていない。

⑤ 児童図書コーナー等の整備・充実

児童図書コーナーは、幼児や児童生徒が、自ら絵本や紙芝居などを手に取り選べるよう、子どもの視線に合わせた低い本棚や絵本の表紙を見せる配置を行います。また、本の家や本の森、おはなし部屋や授乳室、子ども用のトイレ等を配置し、親子で自由に楽しく過ごせる場として提供します。

中・高校生を対象としたヤングアダルトコーナーのほか、多目的室、グループ学習室など、利用者の利用目的に応じた場の提供と利用促進に努めます。

ブックリストなどを館内各所に配置するほか、新刊紹介や月ごとの特集コーナーなどを設け、来館者の興味を広げるための工夫に努めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
△	○	○	○	○	B	【図書館】令和元年の新図書館オープンにより、児童図書コーナーを含めよりよい読書環境を提供できるようになったほか、新刊紹介、企画展示の充実により図書の興味を広げる工夫を継続して行っている。

⑥ 図書館利用者の登録促進

小学校の新1年生など、図書館利用者として未登録の希望者に対し、図書館利用者カードを作成し、子どもの利用促進に努めます。また、雄武町への転入者に対し、図書館の利用案内などのパンフレットを配布し、図書館の周知と利用促進を図ります。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
△	△	△	△	△	B	【図書館】ブックスタートの際に図書利用カードを配付しているほか、小学校の図書館見学時に未登録状態の児童に対しカードの作成を行っているが、転入者を対象とした周知は行っていない。

(2) 公共施設の図書資料の整備・充実

① 児童センターの図書資料の整備・充実

児童センターでは、遊びながら身近に本と接することができるよう図書コーナーにおける児童書の整備・充実に努めます。

また、図書館からの配本などにより、図書の充実を図ります。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【児童センター】来館してすぐに図書コーナーで絵本や本を読むこどもは一定数おり、図書コーナーは必要不可欠なものとなっています。絵本や本に興味がないこどもも一定数おり、そういったこども達へのアプローチについて今後検討していく必要があると考える。具体的なアプローチ方法や技術については図書館の職員と協議し、よりよい支援、アプローチ方法を検討する必要があると考える。

② 保健福祉関係機関における図書資料の整備・充実

乳幼児健診時に、待合スペース等に絵本やブックリストを設置し、健診の合間に親子で絵本にふれあえる機会を提供するため、図書館からの配本を行います。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
×	×	×	×	×	D	【図書館】乳幼児健診時の絵本展示、配本については未実施である。

推進方策2－2 学校図書館の整備・充実

（1）学校図書館資料の整備・充実

① 学校図書館資料の整備・充実

学校の図書室資料については、国の学校図書館図書標準冊数を踏まえ計画的な整備を進めます。

また、図書館資料の増加により、蔵書スペースが手狭となっている状況も見られることから、展示・保管場所の確保と計画的な廃棄により、図書の質の確保を図ります。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
△	△	△	△	△	B	【雄武小】毎年、新規図書購入用の予算が配当され、蔵書数は十分に確保されている。廃棄を含む蔵書の管理については図書館のご協力をお願いしたい。

○	○	○	○	○	A	【沢木小】蔵書スペース確保のため、古い蔵書を計画的に廃棄している。図書館の見た目も、古臭さがなくなった。
○	○	○	○	○	A	【共栄小】毎年、計画的に新刊図書の購入を行っている。学習に必要な本や児童の興味関心の高い本などを購入することで、図書の質の確保を図った。
×	×	×	×	○	C	【雄武中】令和4年度に、整備を行ってもらっているが、かなり本が多く、整理に時間がかかっている。次年度以降は、計画的に整理していきたい。
△	△	△	△	△	B	【雄武高】図書の購入については学校事務と協議し計画的に行っていている。

② 子どもが読書活動するスペースの整備

子どもが読みたい時に、いつでも本を手に取ることができるように、本や棚の配置を工夫し、子どもの身近なところに図書を用意するなどして読書活動の日常化に努めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
○	○	○	○	○	A	【雄武小】新規購入した本や図書委員会からのおすすめの本を目立つところに展示したり、定期的に図書館からの配本を受けたりすることが読書の日常化につながった。
○	○	○	○	○	A	【沢木小】環境は、かなり整備されている。
○	○	○	○	○	A	【共栄小】新刊図書の紹介や学習によく使う本のコーナーを設置するなど、本に接する機会を増やし、読書活動の日常化を進めた。
○	○	○	○	○	A	【雄武中】図書館内にいつでも読めるよう本が置いてある。また、学級にも本が置いてあるので環境は整っている。
△	△	△	△	△	B	【雄武高】昼休みに図書委員が学校図書館を開放し貸し出し等を行う。

(2) 学校図書館の機能の充実

① 図書館司書の派遣等による図書館との連携

平成26年6月の学校図書館法の一部改正により、児童生徒による学校図書館の利用の一層の促進のため、学校司書の配置が努力義務となっていることから、新たな図書館運営に伴う従事職員の増加に合わせ、図書館司書の派遣による、より活用しやすい学校図書室づくりについて検討を進めます。

また、「図書館運営相談事業」等の道立図書館市町村支援事業の積極的な活用による指導・支援を進めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
×	×	×	×	×	D	【雄武小】ここ数年、司書の派遣について意見交換し、蔵書の整理を皮切りに継続した派遣を進めていく方向に向かっているが、実現には至っていない。
×	×	×	×	×	D	【沢木小】図書館司書の派遣はされていない。
×	×	×	○	○	C	【共栄小】R3年度から、移動図書の利用をお願いした。本が借りやすく、また図書館司書のアドバイスで読書の幅が広がっている。
×	×	×	×	×	D	【雄武中】実施できていない。
×	×	×	×	×	D	【雄武高】

② ボランティアの活用

学校図書室資料の受入れや貸出・返却、図書の補修、書棚の整理などの業務をはじめ、読み聞かせや広報活動などについて、地域ボランティア、PTA、図書館司書などが協力・連携して取り組み、子どもの読書活動を進めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4		
△	△	△	△	△	B	【雄武小】読み聞かせは地域住民、保護者、図書館司書などのボランティアのご協力で進められ、成果をあげている。それ以外の活動については、現状、取り組めていない。

△	△	△	△	△	B	【沢木小】読み聞かせ以外でも、協力していただけないと良い。（図書の修理、書棚の整理など）
○	○	○	○	○	A	【共栄小】地域ボランティアの読み聞かせを継続してお願いしている。読書への意欲づけに効果が高い。
×	×	×	×	△	C	【雄武中】書棚の整理の協力はいただいているが、ボランティアの読み聞かせは行っていない。次年度以降の検討材料だが、今のところ実施の予定はない。
×	×	×	×	×	D	【雄武高】現在、図書委員会担当教員と生徒で学校図書館の管理運営を行っている。

推進方策2－3 子どもの読書活動の推進に係る体制の整備

(1) 子どもの読書活動推進計画の管理

① 子どもの読書活動推進計画の管理

「雄武町社会教育委員の会議」を通して、毎年、施策の推進や進捗管理を行うとともに情報交換に努め、適宜、計画内容の見直しを図るなど、地域全体の子どもの読書活動の推進を図ります。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	D	【図書館】社会教育委員の会議に対し、計画策定後は特段の進捗管理・情報交換は行っていない。
×	×	×	×	×		

(2) 関係機関・民間団体等の連携・協力の促進

① ボランティア等との連携・協力

学校においては、ボランティアによる読み聞かせが行われていますが、学校以外での図書館や保育所などにおいても活動が望まれます。読書活動全般に対するボランティア活動の裾野を広げる啓発活動を行い、人材発掘に努めるとともに、図書館友の会の発足を促すための情報発信に取り組みます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	D	【図書館】ボランティア団体発足には至っていない。
×	×	×	×	×		

(3) 図書館司書の研修の充実

① 図書館司書の研修の充実

図書館司書は、児童図書をはじめ図書館資料の選択・収集・提供、利用者に対する読書相談、子どもの読書活動に対する指導、ボランティアとの連携など、子どもの読書活動を推進する上で重要な役割を担っています。

図書館司書に対し、日常業務での研鑽をはじめ、自己研修や道立図書館が主催する研修会、館内公共図書館協議会等における研修会への積極的な参加機会を設け、専門性の向上に努めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	A	【図書館】北海道図書館大会、遠紋ブック図書館職員等研修会等への参加によりスキルアップを図っている。
○	○	○	○	○		

推進方策3－1 啓発・広報活動の推進

(1) 子どもの読書活動に関する理解の促進

① こどもの読書週間等における普及・啓発

図書館では、こどもの読書週間や読書週間に合わせ、ボランティアと協力・連携し、おはなし会や読み聞かせ、講習会などを開催し、子どもの読書活動の意義や重要性について、広く普及・啓発を図ります。

また、小・中学校においても、こどもの読書週間の事業と連動し、保護者や児童生徒への読書活動に対する理解促進に努めます。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	A	【図書館】読書週間事業として企画展示を実施したほか、ポスターの掲示により周知を行った。
○	○	○	○	○		

(2) 優良図書の普及

① 優良図書の家庭・地域・学校への普及

乳幼児健診や子育てに関する講演会、学校などを通して、各種ブックリストを配布します。

また、図書館各コーナーにブックリストやパスファインダーを設置するとともに、その効果的な利用方法について情報提供を行います。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	D	【図書館】ブックリスト、パスファインダーの配布は実施していない。
×	×	×	×	×		

(3) 各種情報の収集・提供

① 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供

本町における子どもの読書活動に関する取組や進捗状況をはじめ、国や北海道、他自治体などの子どもの読書活動に関する情報を収集し、図書館内に配置するとともに、町や図書館のホームページ、広報おうむなどにより広く情報提供を行います。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	B	【図書館】情報収集は行っているが、情報提供については実施していない。
△	△	△	△	△		

② 行事情報の提供

図書館が主体となって実施する行事はもとより、各自治体や民間団体の行事情報の収集に努めるとともに、図書館や公共施設においてパンフレット類の配置・掲示を行うほか、広報おうむやホームページ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、報道機関などを通して情報提供を行います。

実施状況					評価	検証（成果と課題等）
H30	R元	R2	R3	R4	B	【図書館】近隣市町村や町内民間団体などの行事について、ポスター等の掲示を行っているほか、観光協会と協力し情報提供等おこなっているが、SNSを利用しての周知は行っていない。
△	△	△	△	△		

評価	A	B	C	D	合計
個数	27	21	5	16	69
割合	39.1%	7.3	17.4%	18.9%	100%

第2章 子どもの読書活動の推進の方策

子どもの読書活動推進の基本方向である「読書機会の充実」、「読書環境の整備」及び「普及・啓発」の実現に向けて、次の具体的な取組を推進します。

基本方向1 読書機会の充実

子どもの読書習慣は日常の生活を通して身につけるものであり、読書が生活の中に位置づけられ継続して行われるよう、家庭、保育所・児童センター、学校、図書館の各々の場において、子どもが読書を通して新たな発見や出会い、楽しさを味わうことができるよう工夫を重ね、さまざまな機会を提供することが求められています。

具体的な取組

(1) 家庭における取組の推進

家庭は子どもの生活の基盤であり、最初に読書に触れる場でもあります。そのため、保護者が意識して子どもの読書機会の充実や読書活動の習慣化に配慮し、率先して積極的な役割を果たしていくことが重要です。

そのため、家庭においては保護者による読み聞かせや、家族が一緒に本を読んだり、図書館に出向いたりするなど、子どもが読書に親しむきっかけ作りのほか、家族で定期的に読書の時間を設けたり、読書を通して家族で話したりするなど、家族間のコミュニケーションを中心とし、読書に対する興味や関心を引き出すように子どもに働きかけ、読書活動をサポートしていくことが大切です。

① ブックスタート

絵本を通して親子がふれあう機会を提供するため、1歳の誕生日を迎えた対象児に対し、子育て支援センターが実施する「はじめてのお誕生会」の場でブックスタートを実施します。ブックスタートでは絵本を含めたブックスタートパックの配付のほか、読み聞かせを行うとともに、ブックリストの配付を行います。

② ブックスタートフォローアップ事業

1歳児に対して行うブックスタートのフォローアップとして、おすすめ絵本のセット貸し出しや読み聞かせ講座のほか、本を選ぶ際の参考となるようブックリストを作成、配付し家庭における読書活動を支援します。

③ 親子で参加できるイベントの実施

読み聞かせ講座や、工作会、ワークショップなど親子で楽しめるイベントを実施することにより、家族で図書館を活用し読書に親しむ機会を作ります。

(2) 保育所・児童センターにおける取組の推進

保育所においては、乳幼児期に読書の楽しさを知ることができるように、乳幼児が絵本や物語などに親しむ活動を積極的に行っていくことが求められています。

また、児童センターにおいては、児童の趣味を助長し、情操の涵養を図るという目的に沿った形での読書に親しむ機会の創出が大切です。

① 保育所での絵本の活用

午睡前や帰りの会等の機会に、絵本や紙芝居や読み聞かせを行います。

② 図書館からの保育所・児童センターに対する読書支援

図書館資料を活用し、保育所・児童センターにおける読書活動・読み聞かせ活動を支援するため、セット絵本等の配本事業を促進します。

(3) 学校における取組の推進

学校においては、児童生徒が多くの語彙や多様な表現に触れ、新たな考え方出会いう読書の機会を充実することが望されます。

① 国語の読書指導の充実

日常生活においても児童生徒の読書意識が高まるよう、各学校において国語科を中心とし、すべての教科を通してさまざまな文章や資料を読んだり調べたりするなど、読書指導の充実を図ります。

② 朝の読書など一斉読書活動の推進

各学校において実施されている朝の読書活動などの一斉読書を推進し、児童生徒の一層の読書習慣の定着に努めます。

③ 学校図書館を活用した調べ学習の推進

各教科や特別活動、総合的な学習の時間を通して、学校図書館を活用した多様な学習活動を推進します。

④ ビブリオバトルの推進

各々が好きな本を紹介する「書評合戦」であるビブリオバトルは、読書習慣の定着に有効な手段であるだけではなく、読書が苦手な子どもに対して本を読む楽しさを伝える効果もあることから、小中高等学校において積極的に推進します。

⑤ 図書館からの学校に対する読書支援

学校における読書活動を推進するため、移動図書館、配本、授業支援用図書貸出等を行い、多様な本に接する機会を提供します。

(4) 図書館における取組の推進

図書館においては、子どもの読書活動に関する理解と関心を広めるとともに、子どもが読書を通して新たな発見や出会い、楽しさを味わうことができるよう工夫を重ね、さまざまな機会を提供することが求められています。

① 読書相談への対応

保護者、保育所・児童センター、学校の求めに応じ、読書相談への具体的なアドバイスを行い、子どもたちが自発的に読書活動に取り組めるよう支援します。

② 絵本等の選書支援

絵本を選ぶ時間がない保護者や選定に迷っている保護者向けに、お薦め絵本、着替えや歯みがきなど生活に関する絵本のセットを紹介し、子育てを支援します。

③ おはなし会・講座等各種イベントの実施

定期的なおはなし会（読み聞かせ）や、読書感想文コンクールを実施し、読書に親しむ機会の充実を図るとともに、工作会、ワークショップ、映画上映会、図書館まつりの実施など、さまざまなイベントを通して図書館に足を運び図書に触れる機会を創出します。

④ 企画展示の実施

季節や工作、感想文等のテーマ毎に図書の展示を行い、読書に対する関心を喚起します。

⑤ 施設見学、職場体験等の受入

保育所児や小学生などの施設見学の受入れに当たっては、子どもたちが図書館を身近な場所として感じられるよう配慮し、図書館を有効に活用できるよう、図書館紹介（オリエンテーション）を行い細やかな案内や説明を行うほか、中・高校生の職場体験の受入れを行い、図書館業務の体験を通して、読書の大切さや楽しさについての理解促進に努めます。

また、図書館を活用した調べ学習などを積極的に受け入れ、読書活動や学習の支援を図ります。

⑥ 図書館職員の専門性の向上

子どもの自主性を大切にしながら、それぞれの目的に合う本と出合うきっかけを作ることは図書館職員の大切な仕事です。図書館職員は、積極的にブックトーク等の研修を受講し、「子どもを理解すること」「本を知ること」を心がけ、子どもと本を繋げるよう努めます。

基本方向2 読書環境の整備

子どもたち一人ひとりが、自分の読みたい本を豊富な図書の中から自由に選択し、読書の楽しさを知り、豊かな創造性や読解力を身につけていくため、読書環境の整備は大きな役割を担っています。

具体的な取組

(1) 保育所・児童センターの図書資料の整備・充実

保育所（玄関エントランス・遊戯室・各クラス・子育て支援センター内書架）、児童センター（図書コーナー）には子どもがいつでも好きな図書を手に取れるよう配置されており、さらなる整備・充実が望まれます。

① 保育所・児童センターの図書資料の整備・充実

保育所では職員による読み聞かせに対応し、子どもが絵本に接することができるよう絵本の整備・充実を図るとともに、児童センターでは、遊びながら身近に本と接することができるよう図書コーナーにおける児童書の整備・充実に努めます。

② 図書館による配架・分類支援

子どもがより利用しやすい環境を提供するため、求めに応じ図書の配架・分類等について支援を行います。

(2) 学校図書館資料の整備・充実

学校図書館は、学びの場であるとともに、囮休みや放課後に好きな本を選び自分のペースで読んだり、興味があることをじっくり調べるなどの自由な読書活動の場として、また思い思いに過ごせる居場所として、子どもの成長を支える重要な役割を担っています。

子どもの豊かな読書経験の機会を充実していくためには、子どもの知的活動を推進し、さまざまな興味や関心に応える魅力的な学校図書館を整備・充実していくことが必要です。

また、各教科、特別活動、総合的な学習の時間において多様な教育活動を展開していくためにも、学校図書館資料を充実していくことが求められています。

① 学校図書館資料の整備・充実

学校の図書館資料については、国の学校図書館図書標準冊数を踏まえ計画的な整備を進めるとともに、展示・保管場所の確保と計画的な廃棄により、図書の質の確保を図ります。

② 子どもが読書活動するスペースの整備

子どもが読みたい時に、いつでも本を手に取ることができるように、本や棚の配置を工夫し、子どもの身近なところに図書を用意するなどして読書活動の日常化に努めます。

③ 図書館司書の派遣等による図書館との連携

図書館司書の派遣により、より活用しやすい学校図書館づくりを進めます。

また、学校図書館資料の受入れや貸出・返却、図書の補修、書棚の整理などの業務をはじめ、読み聞かせや広報活動などについて、学校と図書館が協力・連携して取り組み、子どもの読書活動を進めます。

④ 学校図書館の電算化

小・中学校の図書館の電算化を進めることにより、より利用しやすい図書館づくりを推進します。

(3) 図書館資料等の整備・充実

① 図書館資料の整備・充実

乳幼児には絵本に親しんでもらうため、良質な絵本や布の絵本、紙芝居、大型絵本など、児童生徒向けには文学やノンフィクション、自然科学、芸術・スポーツなど、中・高校生を対象としたヤングアダルトなど、子どもたちの年齢に応じた興味や関心を持つ幅広い図書館資料の計画的な整備と更新に努めます。

また、北海道に関わりのある民話や絵本のほか、アイヌ文化などに関する児童書の収集に努めます。

図書館で不用にとなった絵本や児童書については、古本市を通して地域に還元して再利用を行い、図書の有効利用を図ります。

② 子どもの居場所としての図書館づくり

子どもが本に接する機会づくりのためには、まず図書館に来館してもらうことと、図書館が子どもにとって親しみやすい場所であることが必要です。図書館が子どもたちの居場所であり続けるために、子どもたちが気軽に来ることができ、身近な図書館を目指します。

図書館では絵本の表紙を見せる面見せや、子どもたちが親しみを覚えるような装飾による雰囲気づくり、わかりやすい配置などに心がけ、楽しく過ごせる場を提供し利用促進に努めます。

基本方向3 普及・啓発

子どもの読書活動を推進していくため、図書館資料の蔵書状況や貸出情報、さまざまなイベント、子どもの読書活動に関する情報について、さまざまな媒体を通して広く提供することが重要です。

また、子どもの読書活動の意義や重要性についての普及・啓発に努め、町民の理解促進を図ることが必要です。

具体的な取組

(1) 子どもの読書活動に関する理解の促進

① 子どもの読書週間等における普及・啓発

図書館では、子どもの読書週間に合わせ、企画展示やおはなし会（読み聞かせ）等を開催し、子どもの読書活動の意義や重要性について、広く普及・啓発を図ります。

(2) 各種情報の収集・提供

① 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供

本町における子どもの読書活動に関する取組や進捗状況をはじめ、国や北海道、他自治体などの子どもの読書活動に関する情報を収集するとともに、町や図書館のホームページ、広報おうむなどにより広く情報提供を行います。

② イベント情報の提供

図書館が主体となって実施するイベントはもとより、各自治体や民間団体の情報の収集に努めるとともに、図書館においてパンフレット類の配置・掲示を行うほか、広報おうむやホームページ、SNS、報道機関などを通して情報提供を行います。

③ 図書情報の提供

評価の定まった児童書や絵本、その他図書館職員の薦める図書などの情報を広報おうむやホームページ、SNSを通して情報提供を行います。

第3章 計画の点検・評価

計画の効果的な推進を図るため、定期的に点検・評価を行います。

1 子どもの読書活動推進計画の点検・評価

(1) 子どもの読書活動推進計画の点検・評価の実施

計画の進捗状況について毎年度、点検・評価を行うとともに、図書館協議会に報告し、その意見などを踏まえて計画を推進します。

(2) 保育所・児童センターにおける取組の推進

保育所においては、乳幼児期に読書の楽しさを知ることができるように、乳幼児が絵本や物語などに親しむ活動を積極的に行っていくことが求められています。

また、児童センターにおいては、児童の趣味を助長し、情操の涵養を図るという目的に沿った形での読書に親しむ機会の創出が大切です。

① 保育所での絵本の活用

午睡前や帰りの会等の機会に、絵本や紙芝居や読み聞かせを行います。

② 図書館からの保育所・児童センターに対する読書支援

図書館資料を活用し、保育所・児童センターにおける読書活動・読み聞かせ活動を支援するため、セット絵本等の配本事業を促進します。

(3) 学校における取組の推進

学校においては、児童生徒が多くの語彙や多様な表現に触れ、新たな考え方に出合う読書の機会を充実することが望されます。

① 国語の読書指導の充実

日常生活においても児童生徒の読書意識が高まるよう、各学校において国語科を中心とし、すべての教科を通してさまざまな文章や資料を読んだり調べたりするなど、読書指導の充実を図ります。

② 朝の読書など一斉読書活動の推進

各学校において実施されている朝の読書活動などの一斉読書を推進し、児童生徒の一層の読書習慣の定着に努めます。

③ 学校図書館を活用した調べ学習の推進

各教科や特別活動、総合的な学習の時間を通して、学校図書館を活用した多様な学習活動を推進します。

④ ビブリオバトルの推進

各々が好きな本を紹介する「書評合戦」であるビブリオバトルは、読書習慣の定着に有効な手段であるだけではなく、読書が苦手な子どもに対して本を読む楽しさを伝える効果もあることから、小中高等学校において積極的に推進します。

⑤ 図書館からの学校に対する読書支援

学校における読書活動を推進するため、移動図書館、配本、授業支援用図書貸出等を行い、多様な本に接する機会を提供します。

(4) 図書館における取組の推進

図書館においては、子どもの読書活動に関する理解と関心を広めるとともに、子どもが読書を通して新たな発見や出会い、楽しさを味わうことができるよう工夫を重ね、さまざまな機会を提供することが求められています。

① 読書相談への対応

保護者、保育所・児童センター、学校の求めに応じ、読書相談への具体的なアドバイスを行い、子どもたちが自発的に読書活動に取り組めるよう支援します。

② 絵本等の選書支援

絵本を選ぶ時間がない保護者や選定に迷っている保護者向けに、お薦め絵本、着替えや歯みがきなど生活に関する絵本のセットを紹介し、子育てを支援します。

③ おはなし会・講座等各種イベントの実施

定期的なおはなし会（読み聞かせ）や、読書感想文コンクールを実施し、読書に親しむ機会の充実を図るとともに、工作会、ワークショップ、映画上映会、図書館まつりの実施など、さまざまなイベントを通して図書館に足を運び図書に触れる機会を創出します。

④ 企画展示の実施

季節や工作、感想文等のテーマ毎に図書の展示を行い、読書に対する関心を喚起します。

⑤ 施設見学、職場体験等の受入

保育所児や小学生などの施設見学の受入れに当たっては、子どもたちが図書館を身近な場所として感じられるよう配慮し、図書館を有効に活用できるよう、図書館紹介（オリエンテーション）を行い細やかな案内や説明を行うほか、中・高校生の職場体験の受入れを行い、図書館業務の体験を通して、読書の大切さや楽しさについての理解促進に努めます。

また、図書館を活用した調べ学習などを積極的に受け入れ、読書活動や学習の支援を図ります。

⑥ 図書館職員の専門性の向上

子どもの自主性を大切にしながら、それぞれの目的に合う本と出合うきっかけを作ることは図書館職員の大切な仕事です。図書館職員は、積極的にブックトーク等の研修を受講し、「子どもを理解すること」「本を知ること」を心がけ、子どもと本を繋げるよう努めます。

基本方向2 読書環境の整備

子どもたち一人ひとりが、自分の読みたい本を豊富な図書の中から自由に選択し、読書の楽しさを知り、豊かな創造性や読解力を身につけていくため、読書環境の整備は大きな役割を担っています。

具体的な取組

(1) 保育所・児童センターの図書資料の整備・充実

保育所（玄関エントランス・遊戯室・各クラス・子育て支援センター内書架）、児童センター（図書コーナー）には子どもがいつでも好きな図書を手に取れるよう配置されており、さらなる整備・充実が望まれます。

① 保育所・児童センターの図書資料の整備・充実

保育所では職員による読み聞かせに対応し、子どもが絵本に接することができるよう絵本の整備・充実を図るとともに、児童センターでは、遊びながら身近に本と接することができるよう図書コーナーにおける児童書の整備・充実に努めます。

② 図書館による配架・分類支援

子どもがより利用しやすい環境を提供するため、求めに応じ図書の配架・分類等について支援を行います。

(2) 学校図書館資料の整備・充実

学校図書館は、学びの場であるとともに、囮休みや放課後に好きな本を選び自分のペースで読んだり、興味があることをじっくり調べるなどの自由な読書活動の場として、また思い思いに過ごせる居場所として、子どもの成長を支える重要な役割を担っています。

子どもの豊かな読書経験の機会を充実していくためには、子どもの知的活動を推進し、さまざまな興味や関心に応える魅力的な学校図書館を整備・充実していくことが必要です。

また、各教科、特別活動、総合的な学習の時間において多様な教育活動を展開していくためにも、学校図書館資料を充実していくことが求められています。

① 学校図書館資料の整備・充実

学校の図書館資料については、国の学校図書館図書標準冊数を踏まえ計画的な整備を進めるとともに、展示・保管場所の確保と計画的な廃棄により、図書の質の確保を図ります。

② 子どもが読書活動するスペースの整備

子どもが読みたい時に、いつでも本を手に取ることができるように、本や棚の配置を工夫し、子どもの身近なところに図書を用意するなどして読書活動の日常化に努めます。

③ 図書館司書の派遣等による図書館との連携

図書館司書の派遣により、より活用しやすい学校図書館づくりを進めます。

また、学校図書館資料の受入れや貸出・返却、図書の補修、書棚の整理などの業務をはじめ、読み聞かせや広報活動などについて、学校と図書館が協力・連携して取り組み、子どもの読書活動を進めます。

④ 学校図書館の電算化

小・中学校の図書館の電算化を進めることにより、より利用しやすい図書館づくりを推進します。

(3) 図書館資料等の整備・充実

① 図書館資料の整備・充実

乳幼児には絵本に親しんでもらうため、良質な絵本や布の絵本、紙芝居、大型絵本など、児童生徒向けには文学やノンフィクション、自然科学、芸術・スポーツなど、中・高校生を対象としたヤングアダルトなど、子どもたちの年齢に応じた興味や関心を持つ幅広い図書館資料の計画的な整備と更新に努めます。

また、北海道に関わりのある民話や絵本のほか、アイヌ文化などに関する児童書の収集に努めます。

図書館で不用にとなった絵本や児童書については、古本市を通して地域に還元して再利用を行い、図書の有効利用を図ります。

② 子どもの居場所としての図書館づくり

子どもが本に接する機会づくりのためには、まず図書館に来館してもらうことと、図書館が子どもにとって親しみやすい場所であることが必要です。図書館が子どもたちの居場所であり続けるために、子どもたちが気軽に来ることができる、身近な図書館を目指します。

図書館では絵本の表紙を見せる面見せや、子どもたちが親しみを覚えるような装飾による雰囲気づくり、わかりやすい配置などに心がけ、楽しく過ごせる場を提供し利用促進に努めます。

基本方向3 普及・啓発

子どもの読書活動を推進していくため、図書館資料の蔵書状況や貸出情報、さまざまなイベント、子どもの読書活動に関する情報について、さまざまな媒体を通して広く提供することが重要です。

また、子どもの読書活動の意義や重要性についての普及・啓発に努め、町民の理解促進を図ることが必要です。

具体的な取組

(1) 子どもの読書活動に関する理解の促進

① 子どもの読書週間等における普及・啓発

図書館では、子どもの読書週間に合わせ、企画展示やおはなし会（読み聞かせ）等を開催し、子どもの読書活動の意義や重要性について、広く普及・啓発を図ります。

(2) 各種情報の収集・提供

① 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供

本町における子どもの読書活動に関する取組や進捗状況をはじめ、国や北海道、他自治体などの子どもの読書活動に関する情報を収集するとともに、町や図書館のホームページ、広報おうむなどにより広く情報提供を行います。

② イベント情報の提供

図書館が主体となって実施するイベントはもとより、各自治体や民間団体の情報の収集に努めるとともに、図書館においてパンフレット類の配置・掲示を行うほか、広報おうむやホームページ、SNS、報道機関などを通して情報提供を行います。

③ 図書情報の提供

評価の定まった児童書や絵本、その他図書館職員の薦める図書などの情報を広報おうむやホームページ、SNSを通して情報提供を行います。

第3章 計画の点検・評価

計画の効果的な推進を図るため、定期的に点検・評価を行います。

1 子どもの読書活動推進計画の点検・評価

(1) 子どもの読書活動推進計画の点検・評価の実施

計画の進捗状況について毎年度、点検・評価を行うとともに、図書館協議会に報告し、その意見などを踏まえて計画を推進します。

